

市民から賛否 鳥取市庁舎整備、説明会始まる

日本海新聞 2013年7月14日

鳥取市の庁舎整備の基本方針案について竹内功市長をはじめ市執行部による市民説明会が13日、始まった。初日は市内3会場で開かれ、旧市立病院跡地への新施設建設などを柱とした方針案や住民投票の扱いをめぐる市民から賛否が噴出した。14日は2会場で行う。

この日は、河原町中央公民館（河原町渡一木）、気高町総合支所（気高町浜村）、市国際交流プラザ（湖山町西1丁目）で開催。このうち市民約100人が参加した河原町中央公民館では、外部有識者で構成された専門家委員会での検討経過や方針案の内容を市執行部が説明したのに続き、竹内市長や市幹部が市民に直接回答する形で意見を交換した。

市民からは、基本方針案について「(現地での)耐震改修案が多数を占めた住民投票の結果をほごにすべきではない」との反対意見も出た一方、「(財源となる)合併特例債の期限もあるので早く進めるべき」と賛意を示す声も上がった。

竹内市長は「市民の意見を踏まえて検討を速やかに進めて全体構想をまとめ、費用の抑制と機能強化を両立させたい」と述べ、方針案への理解を求めた。

また会場では「もっと発言させろ」などの不規則発言のほか、市民同士で口論となるなどの混乱も見られた。

14日の説明会は、午前9時半からさざんか会館（富安2丁目）、午後1時半から国府町中央公民館（国府町庁）の2会場で行う。